

津和野町まちづくり検討委員会

社会実験計画概要

平成15年9月30日

目次

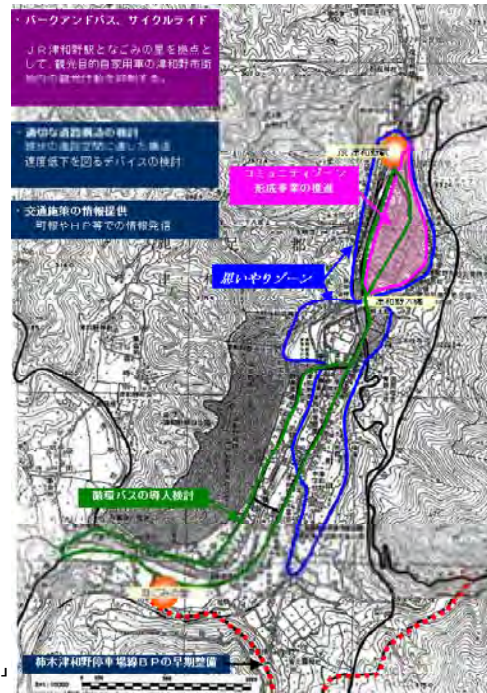
1 . 社会実験の背景と概要	1
2 . バス運行計画 + パーク&ライド実施計画	2
3 . デバイス実験	3
4 . トランジットモール実験	4
5 . 効果確認調査	5
6 . 広報・告知計画	6

1. 社会実験の背景と概要

(1) 津和野町まちづくりの方針

まちづくりの将来像を「人と環境にやさしい交流の里づくり」とし、その実現に向けた将来交通体系について検討してきました。津和野の歴史・伝統・文化を感じさせる「津和野の佇まい」を大事にした上で、歩行者の安全性を重視したゆっくりと歩ける空間を創出するための交通体系整備が必要であるという方針が平成14年度に策定されました。

図に示すように、橋北地区と橋南地区の森鷗外旧居までを歩行者・自転車交通を優先する「思いやりゾーン」とし、それ以南を自動車交通にも便利な「いきいきゾーン」と設定し、具体的な施策を展開します。



(2) 暮らしのみちゾーンの登録

国土交通省が、歩行者や自転車を優先した「生活道路」の整備を推進するために全国各地で指定する「暮らしのみちゾーン・トランジットモール」に津和野町津和野地区が選ばれました。

指定されたのは、JR津和野駅から津和野温泉「なごみの里」までの地域で、本町の観光活動及び生活活動の拠点となる地域となります。

「暮らしのみちゾーン・トランジットモール」は歩行者・自転車、公共交通機関を優先した道路やその周辺整備を進める取り組みで、指定地域に対して、国交省からは、各種補助事業を優先的に採択する等の財政支援、交通施策計画の策定に当たっての専門家の派遣等のソフト支援がなされます。

(3) 社会実験の助成 (国土交通省)

本年度は、国土交通省の支援による「社会実験」を津和野町津和野地区で実施します。

社会実験は道路交通問題の解決が期待される先進的な施策について、効果や影響の確認を行うため、場所と期間を限定して、地域の方々に試行的に施策を体験していただきながら評価を行い、本格的に導入するか否かを判断するものです。

実験内容

- ・循環バスの運行 (津和野駅～なごみの里間)
- ・パーク&バスライドの実施
- ・パーク&サイクルライドの実施
- ・コミュニティゾーン(橋北地区)でのデバイス実験
- ・殿町通り・本町通りでのトランジットモール実験
- ・交通規制 (一方通行等) の実施

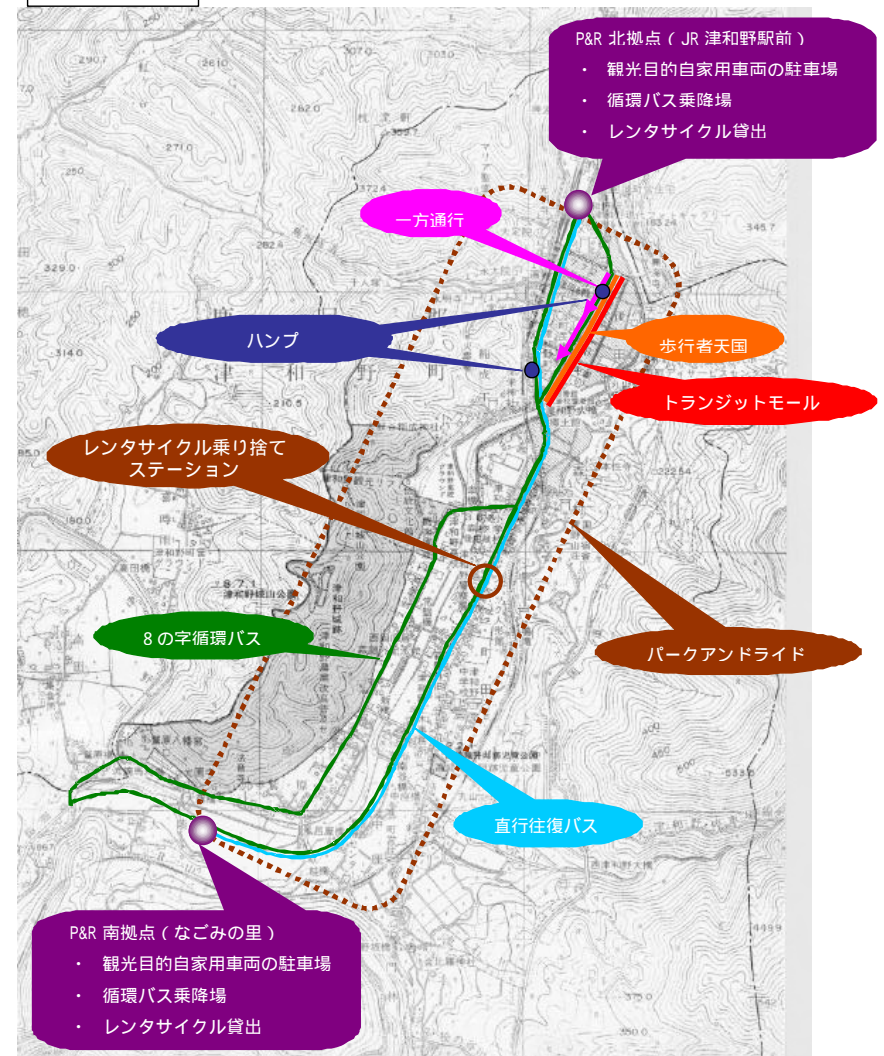
暮らしのみちゾーン及び社会実験については、以下のHPで詳細を見ることができます。
 ・暮らしのみちゾーンHP (国土交通省) <http://www.mlit.go.jp/road/road/yusen/>
 ・社会実験HP (国土交通省) <http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.htm>

(4) 社会実験の詳細

【実験実施期間及び実験パターン】

項目	細別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13月	14月	15月	16日	
循環バス	8の字循環																	
	直行往復																	
デバイス	無																	
	ハンブ一方通行																	
モール	トランジットモール (歩行者天国)																	

社会実験概要図



3. デバイス実験

(1) 実験の目的

- ・歩行者・自転車と自動車が輻輳する現状を改善し、歩行者・自転車の安全性・快適性を向上させる。
- ・歩行者優先道路整備（車中心の道路から人と車が調和し共存する道路空間につくりかえること）に向けた実験である。

高岡通り、本町通りは歩道の未整備及び歩道幅員が狭いため、歩行者のすれ違い時には車道を通行している現状である。観光繁忙期は勿論、日常的にも通学の児童生徒等の安全が確保できない状況である。

今回の実験では現況の道路敷幅を有効に利用し数パターンの実験を行い、歩行者優先道路整備の方向性を模索するものである。

(2) 実験内容

デバイス実験は「デバイス無」、「ハンプ」、「一方通行」の3パターン実施する。

デバイス実験日程

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
パターン1（デバイス無）																
パターン2（ハンプ）																
パターン3（一方通行）																

11/16は本町通り、殿町通りを一方通行としトランジットモール実験を実施

【デバイス無】

期間：11/1、11/2、11/5、11/15、4日間

実験のねらい：交通量の抑制効果

循環バス実験運行による、街中心部への流入交通の抑制効果を検証する。

【ハンプ】

期間：11/6～11/14、11/16、10日間

時間：7:00～17:30

区間：高岡通り、本町通り

実験のねらい：交通量の抑制効果 車輛の速度抑制効果

循環バス実験運行による、街中心部への流入交通の抑制効果を検証する。

ハンプを設置し、運転者が事前にこれを視界の中で確認して速度を低減することをねらっている。

【一方通行】

期間：11/3、11/4、11/16、3日間（11/16はトランジットモール実験を実施）

時間：7:00～17:30

区間：11/3、11/4 祇園町、本町通り、殿町通り

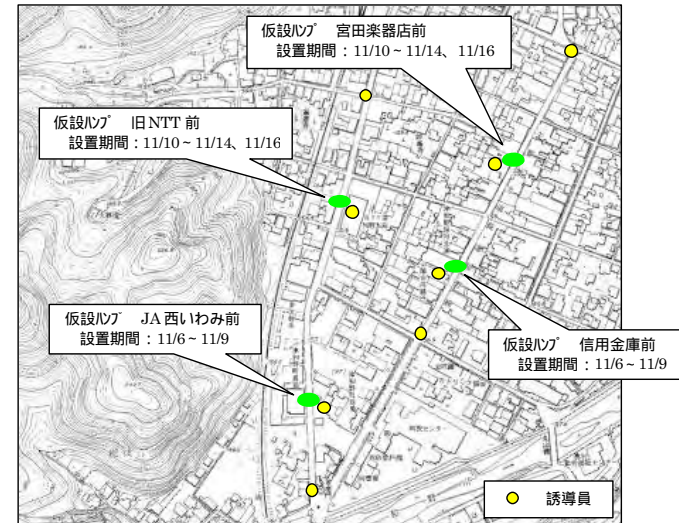
11/16 本町通り、殿町通り（トランジットモール実験を実施）

実験のねらい：交通量の抑制効果 歩道拡幅による通行者への効果

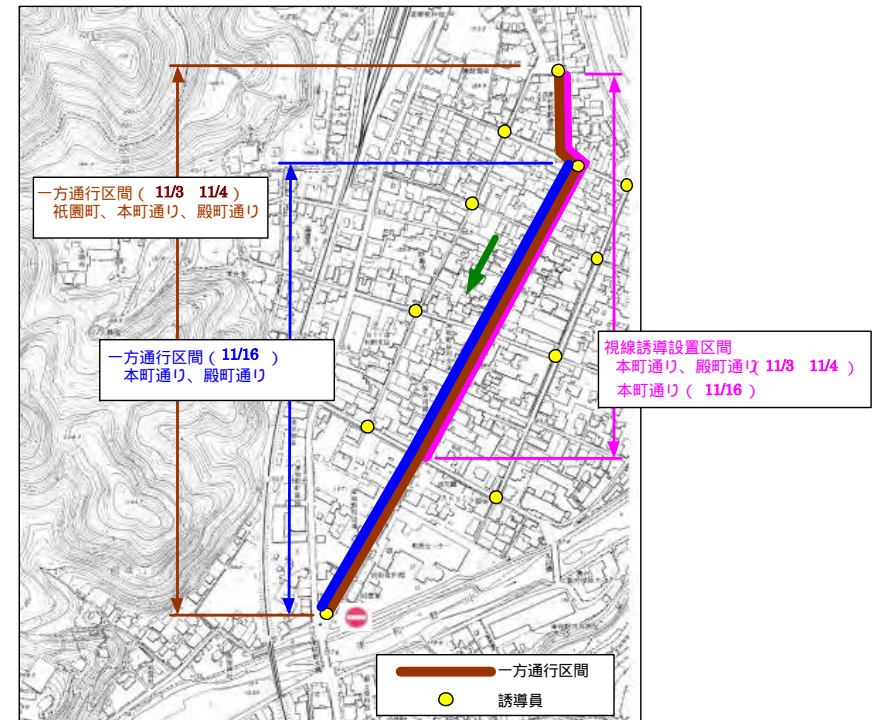
循環バス実験運行による、街中心部への流入交通の抑制効果を検証する。

歩道を広く設け、歩行空間の快適性向上効果を検証する。

パターン2【ハンプ】実験箇所及び誘導員配置図



パターン3【一方通行】実験箇所及び誘導員配置図



4. トランジットモール実験

(1) 実験の目的

- ・ 歩行者・自転車と自動車が輻輳する現状を改善し、歩行者・自転車の安全性・快適性を向上させる。
- ・ 歩行者優先道路整備（車中心の道路から人と車が調和し共存する道路空間につくりかえること）に向けた実験である。

本町通りは歩道が未整備であるため、歩行者のすれ違い時には車道を通行している現状である。観光繁忙期は勿論、日常的にも通学の児童生徒等の安全が確保できない状況である。

今回の実験では、本町通り、殿町通りを公共交通機関と周辺住民のみ通行可能とし流入交通の抑制を行い、歩行者優先道路整備の方向性を模索するものである。

なお、11/15は稲成神社秋季大祭の開催が予定されており、殿町通りは歩行者天国となる。今回の社会実験では、この歩行者天国実施時間帯に周辺道路の交通量・車輛の速度の変化を検証するために交通量及び走行速度調査の実施を行います。

(2) 実験内容

期間：11/16

時間：7:00～17:30

区間：本町通り、殿町通り

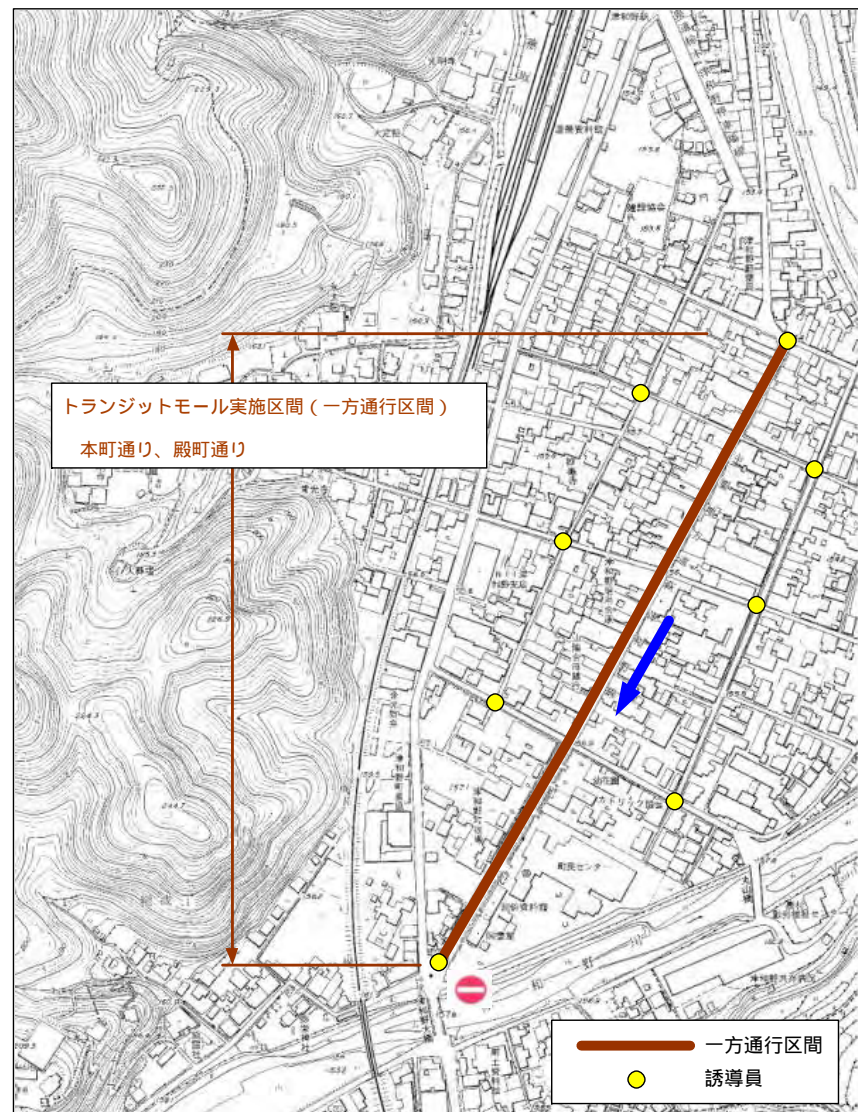
この区間を一方通行（通行方向は駅通り 津和野大橋）とします。

通行可能車輛：公共交通機関（路線バス、タクシー）

通行許可車輛（周辺住民）、緊急車輛

通行許可証：実験日までに配布する。

【一方通行】実施区間及び誘導員配置図



5. 効果確認調査

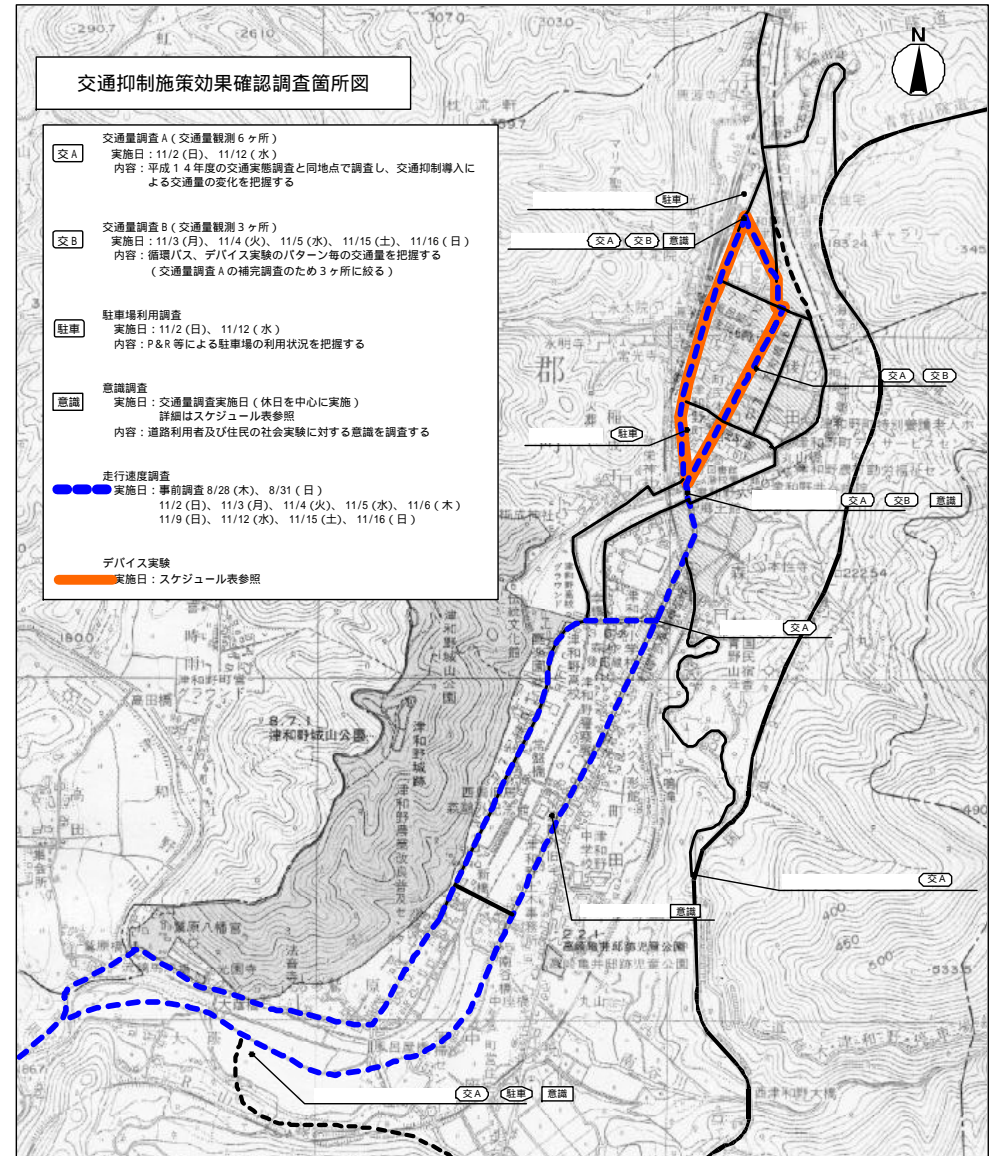
(1) 効果確認調査

以下の調査を実施する。「交通抑制施策効果調査箇所図」参照

項目	目的	内容
交通量調査	交通抑制施策が交通量の低減に寄与することを確認する。 基準交通量は、14年5月の調査結果を用いる。	<ul style="list-style-type: none"> 全体交通量は6箇所の観測点で実施 コミュニティゾーン内のデバイスによる交通変化は、3箇所の観測点で実施
駐車場利用調査	P & Rを利用する車両の数、滞留時間等（利用実態）を把握する。駐車車両全般の実態把握も行う。	<ul style="list-style-type: none"> 町営駐車場、道の駅駐車場、民間駐車場で実施 交通量観測と同じ調査日を設定
走行速度調査	循環バスやデバイスによる走行速度低減効果を確認する。 GPS車載による調査	<ul style="list-style-type: none"> 事前調査を8/28、8/31に実施 交通量観測と同じ調査日に加え、デバイスの変化時に実施
意識調査	交通施策やデバイスによる歩行者・自転車の安全性・快適性の向上を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 道路利用者意識調査 住民意識調査（交通量調査等の実施日に行う）
P & R利用者調査	バスやレンタサイクルの利用実態や意識を把握する。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数の集計、収支計算 モニター調査、意識調査

効果確認調査実施スケジュール

項目	細別	調査時間帯	1土	2日	3月	4火	5水	6木	7金	8土	9日	10月	11火	12水	13木	14金	15土	16日	
効果確認調査																			
	交通量調査	7:00~19:00		A	B	B	B							A				B	B
	駐車場利用調査	7:00~19:00																	
	走行速度調査	7:00~19:30																	
	利用者アンケート調査	利用者 9:00~18:00																	
		住民 9:00~21:00																	
	パーク&ライド利用調査	意識調査 9:00~18:00																	
		モニター調査 9:00~18:00																	



6. 広報・告知計画

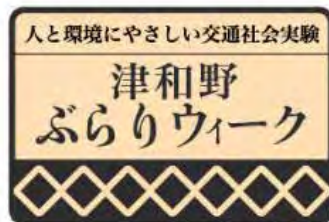
(1) 広報の基本デザイン

キャッチフレーズ

「津和野ぶらりウィーク²」

ロゴ

城下町津和野の町並み観光をイメージさせる、なまこ壁をアクセントに用いたデザインとしています。



ポスター(チラシ)の基本デザイン

ポスターのメインイラストは安野光雅先生の絵を載せる。下のポスターは安野光雅先生の「電車ごっこ」の絵と、「木の葉の舟」の水路の鯉の絵を合わせた図柄です。チラシの表面もポスターと同様なデザイン、レイアウトとする。

このポスター(チラシ)を10月15日配布完了を目標に作業を進行しています。



(2) ポスター・チラシの配布先

ポスター印刷部数： 500枚(B2サイズ)

チラシ印刷部数： 20,000枚(A4サイズ)

配布先機関	選 定 理 由
空港	津和野町を訪れる観光客の発地上位府県の空港に設置。さらに石見空港に羽田便が運航されているため、羽田空港にも配布する。
高速道路SA	中国自動車道、山陽自動車道のSAに配布。ただし、津和野町を訪れる観光客の発地上位県である広島、山口に配布する。さらに、津和野町との友好都市である北九州市のSA、PAにも配布する。
道の駅	津和野町を訪れる観光客の発地上位県(山口、広島、福岡、島根)のIC接続路線にある道の駅に配布。さらに国道9号線沿線、萩津和野線沿線、津和野近隣の道の駅にも配布する。 道の駅は近年観光地化していることから、観光地への配布は、道の駅配布と兼ねることとする。
JR新幹線駅	のぞみの停車する新幹線駅に配布(津和野町を訪れる観光客の発地上位県(山口、広島、福岡)のみ)
JR在来線駅	特急おき停車駅及びSLやまぐち号停車駅に配布
官公庁	中国・四国・九州及び東京・大阪の都府県庁に配布。さらに島根県内市町村、SLやまぐち号通過市町村、萩津和野線沿線市町村都市、津和野町隣接市町村友好都市に配布する。
その他	島根県立施設、中国5県の大学、観光エージェント、津和野町内観光旅館

(3) その他の広報活動

のぼり

設置本数：100本

津和野への南北流入部(南：流滴馬橋、北：錦橋)に設置予定

当日プログラム

印刷部数：10,000枚

実験中の「循環バス運行経路」、「循環バス、レンタサイクル、タクシー料金案内」、「イベント案内」等を記載したポケットサイズのプログラム

ガイドブック

印刷部数：10,000枚

既存の歩くガイドブックの改訂版で、「観光名所案内」、「津和野の地図」、「循環バスのバス停位置」等を記載したポケットサイズのガイドブック

循環バス装飾

バスにカッティングシートを使って、「ロゴ」、「実験期間」等の貼り付けを検討しています。

バスチケット

印刷部数：10,000枚

循環バス1日券は津和野観光の記念として残るように、しおりタイプの乗車券を発行します。

(4) 町民への告知

10/3(金)より随時住民説明会を行う予定としています。